



【ホテルロンドナーマカオのメインロビーから外に出たときこの景色が出現する】

マカオ・コタイ地区に建つホテル群である。

360度、どの角度にカメラを向けても目を奪われるような華やかな景色が広がり、まるで夢の世界に足を踏み入れたかのような感覚に陥る。

ホテルの敷地内にはビッグ・ベンやエッフェル塔もあり、ホテル内にベニスの運河が流れるなど、ヨーロッパの名所を再現した風景が広がる。

さらに、ブロードウェイ風の演出を見せるホテルもあり、一帯はまさに異国情緒溢れる世界となる。

各ホテルの庭園や池には、巧みなデザインが施されており、オープントップ・バスでのナイトツアーでは、そこから夜空に舞い上がる色とりどりの噴水に、思わず歓声をあげた。

どのホテルのメインロビーもその内装は豪華絢爛、見上げると巨大なアトリウムやバルコニーが目を引き、廊下には美しい天井画が施され、まるで一つのアートギャラリーのようなのだ。

私にとってマカオは、80年代初頭から何度も訪れてきた場所である。

当時、マカオはまだポルトガルの植民地であったが、その後カジノの街として驚異的な変貌を遂げていき、その過程も目の当たりにしてきた。

今回、その集大成ともいえる姿を、この目で確かめることができ、これまでの出来事を懐かしみながら、また、新たな魅力も発見できた。

同行した妻も十分に楽しむことが出来、思い出に残る旅となった。